

# 塩狩峠

三浦光世 筆

塩狩記念館  
友の会会報第12号  
平成17年7月発行

## 平成十七年度

### 総会が終わる

五月二十日午後六時半より、夕日の落ちた塩狩峠記念館で町内在住会員十二名が参加して総会が開催されました。

冒頭に荒瀬代表より「本日は、久々の晴天で農家の方々もご多忙の中、ご参集いただきありがとうございます。昨年は飛び入り事業が二本もあって、これまでにない事業が展開できたと思っています。ひとつは「第一回三浦綾子全国読書会」の開催、もうひとつは「宮川大介花子交流会」です。また、本年度事業についてもご協議いただきました。」とのあいさつがありました。

十六年度事業及び決算報告並びに会計監査報告が承認され、引き続き十七年度事業計画及び予算案の説明があり、大人の紙芝居事業、ミニコンサート事業、中西清治講演会事業などの提案があり、関係予算と併せて承認しました。また、今後の課題としてカレンダーの発行について協議しましたが、予算や時期的な問題もあつて見送ることとし、九時半まで熱い協議が行われました。



旭川市で研修会実施

六月二十日午後から友の会研修会を開催しました。

参加者は少なかつたのですが、三浦綾子記念文学館で「銃口」の企画展と夕刻より文化会館で行われたリレートーク事業で斉藤文学館副館長の講演会に参加しました。

講演では「銃口とその時代」と題し、「三浦綾子さん教職時代の体験記として有名な代表作であり、明治維新以降の政策や戦争など歴史的背景とのつながりと作者年譜を重ね合わせて、作者の軍国教育への思いがこぼれ出てくる。」と話されておりました。

## ご案内

塩狩峠記念館友の会では本年下記の事業を行います。ご家族友人をお誘い合せの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 大人の紙芝居事業

日時： 7月15日(金) 18時半  
場所： 塩狩峠記念館  
内容： 道ありき・まっかなまっかな木の紙芝居です。童心に返ってお楽しみください。(100名限定)

### ミニコンサート事業

日時： 8月5日(金) 18時半  
場所： 塩狩峠記念館  
内容： 横田朱乎リコーダーリサイタル  
パロック音楽を斬新にアレンジするトリオ演奏。(整理券発行)  
申込： 7月15日から(100名限定)

### 中西清治講演会事業

日時： 9月9日(金) 18時半  
場所： 塩狩峠記念館  
内容： 世界で誰よりも早く「塩狩峠」を読み、情景に合わせて挿絵を製作担当した美術教員。当時のエピソードを交え、三浦文学との関わりを話す。  
また、貴重な当時の挿絵を展示して説明を聞く絶好の機会です。  
申込： 8月15日から(100名限定)

### 共通の事項

参加料：無料(友の会で負担します。)  
参加方法：  
参加を希望される方は、役場産業振興課商工観光労政係(2421)まで住所・氏名をご連絡下さい。

### 宮崎恒子さん(会員)が 塩狩峠の写真展を開催!

元、和寒高校教諭の宮崎恒子さん(旭川市在住)が「塩狩峠と私」と題して個人展を開催します。会場は、旭川市豊岡一条一丁目にある「北の森ギャラリー工房」で八月一日(十五日)の十時~十八時まで。(但し日曜日が休みです)

宮崎さんはこれまで和寒町の風景を長年撮り続け、写真展でも多くの賞を受賞されており、塩狩峠記念館多目的ホールや町内レストランで展示しています。教職時代には写真部の顧問として生徒を育て、写真を職業としている卒業生もいます。昨年はカレンダーを自費出版するなど写真に対する思い入れは熱いものを感じ得ます。

会場は喫茶店ですので、アイスコーヒーなどを飲みながらご覧ください。

### 記念館周辺 草刈作業が終了

六月十七日午前五時半から友の会の草刈作業が行われました。今回はエンジン付きの草刈機より手刈りの人数が多く、時間がかかってしまいました。秋には、皆エンジン付きで頑張ります。



### 《皮製しおり》 新発売

塩狩峠記念館では今年六月から新グッズの販売を始めました。黒い皮製のしおりで、中西清治さん(友の会会員)の手作り商品です。一枚三百円で販売しています。読書家へのお土産にご利用ください。

注：中西清治さんは月刊誌信徒の友に昭和四十年から掲載した「塩狩峠」の挿絵を担当した方です。以後多くの三浦作品の装丁などにも関わった方です。

### ご寄付

### 有り難うございました

友の会運営に役立ててくださると金一封をいただきました。  
小樽市 大島 治 代 様

# 来館者の声

## 記念館ノートから

塩狩峠記念館に設置している《来館者ノート》には多くの方から感想が寄せられています。今回はその中からほんの一部ですが、4月～6月に記載された分をご紹介します。

2005.4.19(火)

良く晴れた青空の下、残雪が白く輝き、まるで心が洗われるかのようです。

ここ塩狩峠には神が宿っています。心が平和でない者は他人を妬み、平気で傷つけます。

その最たるものが戦争だと考えます。戦争は悲しみと憎しみを増幅させ、心の安らぎを奪います。

思いやり愛しむ心があれば起きるはずがないのに・・・本当に悲しいことです。

平和な心で世界を救えたら、どんなに素晴らしいことでしょう。平和な世界の実現を強く希求するものです。

(旭川市 H)

2005.4.2(土)

およそ1年振りの再訪です。都会は日々変化していきませんが、ここは1年前と何ら変わりありませんでした。何も変わらないこと・・・とても素晴らしいことなんじゃないかと思います。

1年前はひとりで来ましたが、今日是最愛の女性を連れてきました。彼女と出会って3年・・・いつまでも変わらぬ愛を誓いたいです。

この窓から雪景色を見ていると、悲劇は随分過去のようだけど、それでもあの頃の景色が広がっていると思うと、胸が締め付けられます。どうか安らかに眠られて・・・全ての人々が等しく幸せでありますように。

誰かがひとりを真剣に愛し、またそのひとりが誰かを愛し、その輪が広がれば、世界中の悲しみも減ってくれるかもしれない。

またいつか、必ずここに来ます・・・それまで

(大阪市 S)

2005.5.28(木)

こんなところに三浦綾子さんの家が再建されているなんて知りませんでした。とても感動して泣けてきました。

氷点、塩狩峠、ひつじが丘など、全部大好きな作品です。つらいことがあると、いつも読んで、考えることの助けとしています。27歳最後のひとり旅で来た北海道で、この場所に来れたこと、うれしく思います。

(静岡県 Y)

2005.6.28(火)

たまたま、車を運転中に看板を見つけて入館させていただきました。

三浦綾子さんの作品を多く読ませていただいたので、思いがけない塩狩峠記念館の訪問は良い思い出となりました。

ありがとう。(広島県 H)

2005.6.1(水)

修学旅行で塩狩峠記念館に来ました。

旭川の三浦綾子記念分各館にも寄ってきました。口述筆記を体験しましたが、三浦綾子さんの朗読が早く、ついていけませんでした。三浦夫妻はとてもスゴイと思いました。

(東京都 K)

## 友の会リレートーク 峠の呟き

平成十三年七月二十三日、初めて「塩狩峠記念館友の会」の打合せ会に出席しましたが、当時は十三名の会員でした。当然、地方の方々も会員として登録されておりましたが、町内在住会員で設立を決定し、代表を荒瀬さんにお願ひしました。

和寒町の文化の先鋒を担う塩狩峠記念館と抜群の知名度を誇る作家三浦綾子女士の小説「塩狩峠」を備えた活動を行うことで、情報発信と交流人口の増員を図り、塩狩峠を広く全国にPRできると思っています。

四月は総会、六月九月の草刈、三浦綾子記念文学館事業への参加、研修会、冬囲い、二月の長野政雄さんを偲ぶ会協力などを行っています。

出れる時、参加すれば良いのも私にとっては大変ありがたく思っています。

昨年、宮川大介花子さんとの交流会もあり、お二人も友の会会員になっていただき、全国版の新聞でPRを行ってくださいます。

設立から五年、「塩狩峠記念館友の会」を通して色々な行事に参加し、町外からの参加者や会員同士、更に異年齢者の親睦が深められ、貴重な経験と財産をいただきました。

自分も楽しみながら、他の人々にも楽しみを分けてあげられる活動ができればと思います。

「訪れる人々に安らぎある記念館  
愛される塩狩峠」  
皆さんも参加しませんか！

和寒町西町 真鍋 紘一